



傍聴席では、無断で撮影や録画はできないよ。ちゃんと許可を取ろうね!

## 令和2年度を振り返って

議会運営委員会は、表舞台には余り登場しない委員会ですが、議会の円滑な運営を図るため、各会派(所属議員4名以上)を代表する8名の委員で組織し議論します。なお、会派に所属しない議員は、委員会の承認を得て、オブザーバーとして出席が認められます。さて、激しい選挙戦となった昨年10月に行われまし

た富山県知事選挙により、自民党新令和会(4名)が誕生致しました。この委員会に2名が出席されており、議決権を持っておられます。今後大いに議論が深まることを願います。



横山 栄 (議会運営委員長)

県議会議長に就任し、東京を訪ねた日は、4月3日。緊急事態宣言の発令前であったが、東京駅の新幹線ホームは人影もまばらで、地下街は、シャッター通りと化し、東京駅は、無機質な過疎であった。令和2年度は、コロナウイルス一辺倒であり、会議、イベント、祭礼の大半が中止となった。誰もが見えない恐怖と闘っ

ていた。特に、自らの危険も顧みず、職務に精励される医師、看護師等の医療・福祉関係者の方々をはじめ、対策にご協力を頂いている全ての方々に改めて感謝申し上げます。



上田 英俊 (前議長)

富山県のDMO(観光地域づくり法人)強化の参考にしたと4月に計画した瀬戸内DMO視察が残念ながら中止となった。12月、当局から新たな観光振興戦略プラン骨子案についてヒヤリングをし、意見交換を行った。ウィズコロナ・アフターコロナの観光のあり方について、地元の魅力の磨き上げによるマイクロツ

ーリズムや近隣県観光の強化、VR観光の推進、観光産業の生産性向上等、多くの議員から観光振興に対する意見や問題提起があった。

令和3年度は、議連としてしっかりと提言をしたいと思う。



鹿熊 正一 (観光振興議連会長)

富山県議会で122代副議長を2年間させて頂きました。

令和2年度は、上田議長のもとで、コロナ禍の中ではありますが、新人議員10人も加わった論戦が活発に行われました。

議会改革委員長として、各会派との意見集約をしてきました。その結果の一つとして、議会でのデジタル

化、ペーパーレス化を加速させるため、タブレット端末を前倒しで導入することが決まったことが、特に印象的でした。

人との交流が制限されていますが、友好と絆を大切に、皆さん、前を向いて進みましょう。



笹岡 貞郎 (前副議長)

### 議長のご挨拶

現在、わが国においては、厳しい財政状況にあるなかで、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、少子化対策、国土強靱化の推進、グリーン社会の実現、デジタル改革など、多くの課題への迅速な対応が求められています。

そのため、令和3年度は、引き続き重要課題である新型コロナウイルスの感染防止対策と地域経済の支援を的確に行いながら、県として、子育て支援、ベンチャー企業支援、カーボンニュートラルの推進、デジタルトランスフォーメーションの推進などに取り組むこととなりますが、県議会としてもしっかりと支援するとともに、今後とも県民が豊かさを実感できる富山県を築くた

め、本県の有する可能性や魅力を存分に引き出す施策を進めることに全力を傾注してまいります。

また、県議会の運営につきましては、県民の声に真摯に耳を傾け、幅広い意見などを議会活動に反映させるとともに、さらなる議会の活性化を進めるため、令和3年度は、県議会広報の充実、ソーシャルメディア利用等による情報発信、タブレット端末の導入など、より開かれた議会へ向けた改革を進めて議会機能の強化・拡充に努め、皆様に信頼され、期待される議会となるよう、最大限の努力をしてまいります。



富山県議会議長 五十嵐 務